

報 告 事 項

№ 1

報 告 先		報 告 者	北條 隆
日 時	49 年 5 月 10 日	曜 日	時 分
報告・決裁			
本山の件			
9日の本山 お目廻りの際 親下 の話は 大へん のといものでした。 之が 親下かと 疑うほど、また「信心 そのものを 疑いたくなるほど」のとい ものでした。反論はその都度 しましたが、話のすじはわかっても 感情的に 思いこんでいるという 所があり、広布の上に 重大障害と なり、また 宗内僧侶等の 問題の 一切の 根源が こから 出ていると 感じました。			
こころをかけることと 懼れますが、 こと 親下の 言動だけに ありのまま 冷静に 要旨を ご報告 申上ります。			

報 告 事 項

No. 2

報告先			報告者		
日 時	年	月	日	曜 日	時 分
報告・決裁					
日 時	5月9日 16.30 ~ 17.30				
	北条 山崎 早瀬 阿部 坂本				
各 場	④ 問題については、大へんに 機嫌で、よくお願ひです ということでした。(12の報告より)				
	口際センターの件で、説明に 当り、以下のような発言が ありました。				
	これは 芝田の連絡会議の 議題中、海外の案件について もう少しきたいということになっ ていました。事前に 総監と お合された時、口際センターが 円運の案まで 包括されるの ではないか という 疑問が				

報 告 事 項

№

3

報 告 先		報 告 者	
日 時	年 月 日	曜 日	時 分

報告・決裁

ある。これをえなくなれば、内
題はないので、直接話して
下さいということでした。

そこで口際センターを作る
主旨を説明しました。ところが
以下のような 〇といひ発言が
次々と出て来たのです。

内題発言の要旨、

1. 口際センターを作ることは、前から
会友さんからもまいていいます。お作
りになることは結構です。しかし
学会で作って、やって下さい。
日蓮正宗には関係なく、創価
学会でやって下さい。
たって、海外に寺院は建てない、
坊さんはいない、追いかえられる。
日蓮正宗は関係ないでしょう。

これは私の意見だから、いばり学会にかけずとも相談し

報 告 事 項

No. 4

報 告 先		報 告 者	
日 時	年 月 日	曜 日	時 分

報告・決裁

※ この発言に対し、海外衣布の現状、口によって種々の国産があること、それを会長が現地へのリコンで道をひらいていること、日蓮正宗の「信徒」かふえることによって衣布が進展に大型人があはれることではないか、日蓮正宗に関係ないなどとして去えるのかと反論をこました。

2. 創価学会はふえるけれど、日蓮正宗には関係ない。

(そこから突然)

たいたい 会長さんは、10月に公衆の面前で私を罵倒したでしょう。

あなたは あはれいたから知っているでしょう。

報 告 事 項

№ 5

報 告 先		報 告 者	
日 時	年 月 日	曜 日	時 分
報告・決裁			
あれでは、管長の 权威は丸つぶれた。 みんな 見ている。私は かまんした。 あなたは 会長さんの 弟子だから、 私か やる化するのを見て 氣持がよか ったかもしれないが、 いきなり 10 億 といわれた。10 億 あり なんて 言った おぼえはない。			
※ 全然ちがう。之だけ 身命かけて 斗っている 学会員を 大事にして くれ。彼下にはほしいのは 慈悲で と 会長は 全会員を代表して 言ったのです。二人きりの話を じっくりかえすから、皆の前で 言ったのです。彼下は 会長の 身命をとって 本山を奪り 斗ってき たことをどう 承えるのですかと 反言したところ。この新念は			

報 告 事 項

№ 6

報 告 先				報 告 者	
日 時	年	月	日	曜 日	時 分
報告・決裁					
ぢやんとしています。えは私の つとめであらう といひました。○					
3. 日蓮正宗は小さくてよい。七百年の伝統 を失ふことが大事だ。 最近 学会では 謗法が多い。 お祭りのことなど、いろんな聲が 入ってきている。 たとえば、浅間神社の堀を掃除 した。あんなこと市にやらせはいいじや ないか。 聖教新聞にも祭りに参加してよい ようなこと書いてある。 日蓮正宗は、国教を穿つぬく立場から こういうやり方は納得できない。 学会は学会でやりなさい。我々も 宗教法人なんだから。					

報 告 事 項

16

7

報 告 先			報 告 者		
日 時	年	月	日	曜 日	時 分
報告・決裁					
※ 教員は一切まけていない。 地域広布のほうは、社会に 開いた運動をしてゆかねは ならないこと、たいてい根本は 座談会で、と言わせる場合 は、厳格にやり、請ねねの もやって、以来よりずっと堅実 な斗いをやっていると説明。 話としてはわかり、あいそでわか しいとしたが、広布の なの斗いという感覚は全く ありません。					
4. 今、お山の会計を見ているのは、 10億あるかどうか 調べているん でしよう。 土地の件でやってくれていることは、感謝 しているが、					

報 告 事 項

16

8

報 告 先				報 告 者	
日 時	年	月	日	曜 日	時 分
報告・決裁					
※ 之も とんでもない。た-い-い-ち、 下-から やつてこれと云われて やっていること。それ、本山に 万-のことがあったら大へんで、 去年の 庭道問題に引つづき 農地のことが組われているので、 本山をやるには やっているといふこと を 反論したところ、それ以上 いふこともなくなりました。					
以上が、問題発言の要旨です。 筆にすることさえ あそこのことですが、 ありのまゝ 申し上げます。					
早瀬総監は えらいことになったと、青い 顔をしています。					

報 告 事 項

16

報 告 先					報 告 者		
日 時	年	月	日	曜 日	時	分	

報告・決裁

終了後、大坊で事後の話し合いをしました。

総監は、「私の読みが甘かった。あんなことになるとは……。全く申し訳ありません。少々お氣が立っていらしたからでしょう。又、私が時間をかけてよくお話しします。すみませんでした」と申していました。

こちらより、重大な事柄である。しかし冷静に対処しますから、この話は三人のところでとめておいて下さい。と念をおしておきました。

報 告 事 項

26

10

報 告 先

報 告 者

日 時

年

月

日

曜 日

時

分

報告・決裁

先生が 前々から 見抜いて おうに本質
が さらけ出されたように 思いますが、
あまりに いいので、 かえすがえすも
残念です。

右宜 格存など 全く考えていない、自分たち
の 私財が ふえること、 信託を 見下して
えはって 暮せれば 満足 という 月にしか
考えられません。

学会が 生きぬいて ゆくなれば、 相手に 打ち
がないのなら、 うまく 使って ゆくか、 徹底的
に 斗って 学会の 旗を 奪って 死ん
で ゆくか、 whichever 先生の 最大の
ご 苦心 に ふれ と思います、 決意を かね
めました。

報 告 事 項

16 11

報 告 先				報 告 者			
日 時	年	月	日	曜 日	時	分	

報告・決裁

⑪) どのたいかいいも、所詮は本山との
 斗いであることが、分文のよりにわかり
 ました。学会が特殊になるような
 斗いは 能付してはならないと思っ
 ました。

土地問題の処理は せざるを得ませ
 んが、会計のことは、処方をかい
 て提出し、お/揚げたいと思っ
 ます。

こんなことになって 本に申し
 けりません。指をうけて 斗って
 参ります。

報 告 事 項

№ 1

報 告 先		報 告 者	北條 隆
日 時	49 年 5 月 10 日	曜 日	時 分
報告・決裁			
本山の件			
9日の本山 お目廻りの際 親下 の話は 大へん のといものでした。 之が 親下かと 疑うほど、また「信心 そのものを 疑いたくなるほど」のとい ものでした。反論はその都度 しましたが、話のすじはわかっても 感情的に 思いこんでいるという 所があり、広布の上に 重大障害と なり、また 宗内僧侶等の 問題の 一切の 根源が こから 出ていると 感じました。			
こころをかけることとを 懼れますが、 こと 親下の 言動だけに ありのまま 冷静に 要旨を ご報告 申上ります。			